

ように、昭島市、福生市と行政境でもございます。何とか改善してほしいとの要望があります。福生市民も生活する上で重要なところであります。昭島市では、昭和五十七年度に拝島駅周辺地域整備基本計画調査を実施しましたが、現在の事業の進捗状況についてお伺いいたします。また、昭島三百四十二号線、現在、一方通行でありますが、三叉路まで昭和六十三年六月に事業決定しておりますが、道路が完成いたしますと、拝島駅前また熊川周辺の生活がより停滞すると思っておりますが、その対策についてお伺いをいたします。また、拝島駅周辺の放置自転車でありますが、良好な生活環境の保持、交通障害、市民の生活の安全の確保を図るために、市民から強く要望されております。こうした問題で、昭島さんと話し合われたことがありますか。また、拝島駅自由通路の問題、現在、南北に通行する場合、切符を買って通行する状態であります。改善の要望があります。こうした問題で昭島市、JRと話し合われたことがありますか。以上の点について、登壇での質問いたします。

(市長 石川彌八郎君登壇)

○市長(石川彌八郎君) 在原議員さんの質問にお答えいたします。

まず、第一点目の市制二十周年に当たって、平成二年度に市制二十周年に当たり、その記念事業計画についての御質問でございますが、昭和四十五年七月をもって市制を施行して以来、はや平成二年度が二十周年を迎えるはえある年であります。その間、議員の先生方あるいは市民の御努力、御協力をいただきながら目覚ましい発展を遂げ、道路整備、下水道事業であるとか公園緑地、また、施設面においても市民会館、図書館、体育館、地域開館等、整備されてきております。そこで、当市といたしまして、この記念すべき年に当たって、市制二十周年を祝うにふさわしい事業は何かをプロジェクトで検討をさせております。国に当たっては、ふるさと創生という事業と銘打って助成を行い、また地方公共団体であっても、それにふるさと見直し事業にと、まちづくりを行っており、当市にあってはふるさと福生づくりに、市民総意のまちづくりに取りかかっている中で迎える市制二十周年は、基本的に記念事業は市民がいろいろの分野で参加の機会があり、福生に愛着を持っていたらきかけとなる事業、また将来にわたっても残る、あるいは今後の市制の足跡となるような投資的要素を持った事業とすることが必要であろうかと思っております。

例えてみれば、市制に貢献された市民に対する記念表彰であるとか、あるいはまた、英語版を含めた市勢映画の制作であるとか、あるいはまた市勢要覧の作成であるとか、また、ただいま在原議員さんがおっしゃられましたように、青少年の海外派遣事業等を実施したいというふうにご考えておるところであります。また、第四十回を迎える七夕祭りも市制記念にふさわしい行事にするともに、桜祭り、文化祭、体育大会等についても、なお一層充実したものにしていかなければと思っております。その他、各種イベントが考えられますが、いずれにいたしましても、市民に喜んでいただける事業に積極的に取り組んでいきたいと考えております。また、片倉跡地等についても、二十周年を契機といたしまして、でき得るだけの方向づけをしていきたいと考えておるところでございますので、よろしく御理解をいただきたいと存じます。

次に、都市基盤整備について、お答えをいたします。

拝島駅周辺の対策についてでございますが、まず一点目の拝島駅前周辺の整備計画の状況でございます。昭島市において、昭和五十七年度に拝島駅周辺整備計画策定調査を実施いたして、この調査に基づき、地元関係者に対して説明会等を実施し、その後、昭和六十年二月に拝島駅前のまちづくりを考える会を、地元関係者により設立、発足させて以来、今日まで研究会等を行ってきいているところでございます。最近の動きでございますけれども、拝島駅前の将来像について、地元住民の方々の意見を集約した形でのイラストができてまして、これを基本に会員による研究会を開催し、相互の意見交換を行っているところでございます。いずれにいたしましても、現在、まちづくりを考える会を中心にして、その実現に向けて努力しているというのが、現況のようでございます。

次に、二点目の昭島市の都市計画道路Ⅲ・4・2号線の拡幅整備に伴う熊川方面への交通量の増加に対する対策についてでございますが、御質問の昭島Ⅲ・4・2号線でございますが、これは拝島駅南側の青梅線に沿って、熊川方向に向かって拝島駅に至る一方通行になっている道路でございますけれども、昭島市において昭和六十三年に事業決定を行い、平成四年度までに完成を目指して、延長が八百十メートルの区間について、一部買収まで進んでいるところでございます。御指摘のとおり、これが完成いたします

と、市道一三号線でございます、いわゆる通称山王橋通りを中心といたしまして、拜島駅方面からの車の流入がふえるということは、十分懸念されるところでございます。しかし、当市の都市計画における道路網計画の位置づけにつきましては、昭島Ⅲ・4・2号線が完成いたしましたとしても、現在、都市計画決定されている国道あるいは都道等が一〇〇％完成いたしましたすれば、それほど車の流入はないであろうというふうなことで計画され、現在に至っております。しかしながら、現状ではなかなかこの交通量は相当多くなっているのも事実でございます。したがって、今後、交通量等の動向を踏まえまして、交通安全上からも、全体の道路計画の中で昭島市の道路整備の進捗状況等を勘案しながら、検討してまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いをいたしたいと存じます。

三点目の駐輪対策につきましてでございますけれども、拜島駅南側放置自転車についての昭島市との話し合いでございますが、ことしになりました一回話し合いをした経過がございます。たしかに、駅周辺の放置自転車は福生市民の方が多いのが実態でございます。対応といたしましては、当面、福生市といたしまして、道路上に放置しないようにとPRに努めていきたいと、こんなふうにも思っているところでもあります。それから、続きましての拜島駅構内の件に關してお答えをいたします。御案内のとおり、拜島駅は西武拜島線を含めると、四線が結節する重要な鉄道交通の拠点でありまして、乗降、乗りかえの利用者は、年々増加の傾向が顕著でございます。ちなみに、最近における乗降客数だけ見ましても、五万八千人を超えており、乗りかえ客を含めると十万近くなるのではないかとといったような状況下でございます。そして、この乗降客の半数前後は福生市民の利用者ではないかとも言われているほど福生市民が多く利用をしておるところであります。このような状況にもかかわらず、駅施設は大変に老朽化をいたして、跨線橋の幅員が四メートルと狭く、加えてプラットホームも狭隘なことから、そのホームへの階段幅員も非常に狭いという問題がございます。したがって、朝夕のラッシュ時には利用者があふれ、乗降、乗りかえには難渋をきわめ、危険な状態でございます。そこで、この解決に向けてでありますけれども、両市では、瑞穂町も加え、あるいは西多摩広域行政圏の中でも、以前から協議並びに関係鉄道会社に対して、これが改善方の要請行動を実施してきているところでございます。最近になりましたは、特に四月以降で

ございますけれども、私は行政推進担当を加えて、この行動の強化に努めているところでございます。具体的に申し上げますならば、昭島市長と二回ほど会談を行う中で、昭島市長ともども関係国会議員にも御一緒いただきまして、構内視察を実施し、駅長からも事細かに説明を聞いておるところであります。その結果、早急にJR交渉を行うということを確認いたしました。当面の要望内容といたしましては、まず青梅線、そして五日市線ホームと各階段の拡幅であり、同時に跨線橋の拡幅を行い、混雑緩和を図り、安全な駅構内にしたいということであります。九月中には、事務レベルでの協議を行い、そして、十月にはJRトップとの交渉が持てばと考えているところでございます。私もお話にもありました自由通路ができ、また、それに伴う立派な橋上駅になれば、これは大変素晴らしいことと思うのでありますけれども、話題にはなったものの、昭島市における駅前整備等との関係がございして、今後の課題ということになります。

いずれにいたしましても、両市の境界付近のことだからといって、エアポケット扱いにしないようにと。いわゆる行政の谷間というふうなことでないようというふうな、そういった行政格差について注意をはらっていく所存でございます。今後とも、どうぞよろしくお願いを申し上げます、御答弁いたします。

以上で、在原議員さんの御質問に対します答弁とさせていただきます。

○九番（在原 博君） 自席から再質問をさせていただきます。

ただいまは、懇切丁寧な御回答をいただきました。まことにありがとうございます。市制二十周年に当たって記念事業、私は市制二十周年の歩みの中で、先ほども登壇で申し上げましたように、先人の方々が非常に努力をされたという経過というふうなものを取り寄せて見させていただきました。そういたしますと、昭和五十年前後には多くの事業を計画され、実施されてまいりました。これは、一言で言えば、その当時だからといって片づけられない問題が多々あるんではなからうかと思えます。その当時においても、非常に難しい問題が山積しておったわけでございます。例えば、中央図書館とか、またコミュニティーセンター、また区画整理事業、それから三多摩でも六番目に下水道が完備されたという、これはそのときに

は非常に苦勞、努力を積み重ねたのではなからうかと思ひます。そういう意味で、この二十年間を振り返っていただきまして、そして、これから三十年、四十年たったときに、市長を初め理事者の方々の努力が評価されるような、非常に私は二十年としての区切りある年ではなからうかと思ひます。そういった面で、非常に市長を初め優秀な職員の方々がふる福生市でございますので、ひとつ十年、二十年たったときに評価できるように特段の努力をお願いをしたいと思ひます。

また、海外派遣事業の推進でございますが、これも先輩の議員の方々、また、市民からの御協力をいただいて金員を積み立てているわけでございますが、そういった意味で、今、記念事業として計画をしていくというふうなお話がございましたが、まだ計画を持って浅いと思うような感じがいたしますので、先ほども、市長から御答弁をいただきましたが、どのぐらいの人員を派遣するのか。また、その選考方法についてお考えがありましたら、ひとつお聞かせを願ひます。検討しているというような段階でございますので、まだそういった段階でなかったら検討しているというようなことで結構でございます。

また、三十九回の七夕祭りが実施され、来年度は四十年という、これも四十年の中に多くの方々の努力が積み重なって四十年が来たんだと思ひます。そういった区切りとして、市民参加ができるような形の七夕祭りもできないかなというような感じを持っております。実行委員会等でもいろいろお話がございましたが、これから多くの方々と協議を重ねていただきまして、四十年にふさわしいような七夕を計画していただければなというふうに考えております。一つの例といたしまして、私も七夕まつりに、本年度参加をいたしました、短冊を近所の子供さんに配って、願ひ事があつたら書いて持ってきてくださいというようにしたことでしたところ、それぞれの子供さんなり奥さんが、お父さんの仕事がよくいくようにとか、また子供さんは自転車を買ってもらうようにとか勉強ができるようにというふうなことで、一つの願うというふうな、そんなようなことも、この市民参加の七夕ではなからうかと、私はこう思うのでございます。そういった意味で、市民が参加できる四十年にふさわしいような七夕にしていただければなと、これ要望させていただきます。

また、都市基盤の整備についてでございますが、拜島駅のまちづくりを考える会を中心に、現在、進め

ているというふうな市長さんからのお話でございしますが、非常に御存じのように、福生市熊川といっているのか、熊川の住民が非常に利用しているところでもございます。非常に関心事の多いところでございます。そういった意味で、先ほど市長さんからも昭島さんとも話はしていますというふうなお話も聞きました。行政の谷間にならないように、ひとつその点はよろしく願ひをしたいと思ひます。

また、昭島Ⅲ・4・2号線についてでございますが、六十三年の六月に事業決定して完成が平成四年度ということでございますが、あそこが完成いたしますと、現在でも非常に交通量が多ございます。したがって、拜島駅のバスの乗り降り等、またその流れが山王橋通りへも流れてくることは、もう事実でございます。かそういった意味で、非常にこれらも積極的に進めるべきではなからうかと思ひます。平成四年度といひますけれども、すぐ四年度は来てしまうかと思ひます。なかなかこの都市基盤の整備というのは、なかなか一年、二年というふうなことではいかないということは、私もよく存じているわけなんです。ぜひとも生活道路にまで車が入り込んで交通の停滞、また、事故等が多発して地域住民に障害を与えるようなことだけは、ぜひ避けるようお願いをしたいと思ひます。これも要望をしておきます。

また、放置自転車の問題でございしますが、私もこの間、一般質問することについて周辺を歩かせていただきましたが、多摩信の周辺においては、非常に自転車が道路いっぱい置いてありまして、通行する人の障害になっていることは、これは事実でございます。また、障害を持っている方々、また子供さん等が駅周辺の買い物、また通勤、通学される方々の非常に障害になっていることについては、まことに何らかの対策を考えていくべきであらうかと地域住民からも強く要望されているところでございます。この問題について、先ほど市長さんから、一回話し合ったことがあるというふうなお話は聞いておりますが、現在、三多摩の市町でも条例を制定いたしました。放置自転車の対策を考えておりますが、当市においても福生駅、牛浜駅と努力を積み重ねていくことはよくわかっておりますが、拜島駅周辺の対策について、また、当市が自転車条例を制定するお考えがあるのかないのか、その点もお聞かせを願ひたいと思ひます。

最後に自由通路の問題、駅舎を含めての考え方でございますが、先ほど市長からも昭島市長と二回合

買わなければ渡れないというふうなことです。とにかく青梅線の沿線では一番の駅ではなからうかと思うんです。先ほど、乗降客とか利用数を見ても五万人というふうなお話をお聞きいたしました。何とか改善願いたいとの要望があるわけでございます。そういった意味で、粘り強く会合を持っていたいただき、昭島市長との話し合いを持っていたらいいというふうな考え方を持っております。

昔の話に、一本の矢では折れるけれども、三本の矢では折れないというふうな話もございます。昭島市長と福生市長が一緒になれば、必ずやこの問題は解決していくんではなからうかと思えます。そういった意味でも、粘り強く会議を進めていただきたい。JRにもお願いをしていたいただきたいと思いますが、市長に今後のそういった点についての御回答をいただければと。よろしくひとつお願いをいたします。以上で終わります。

○市長（石川彌八郎君） 御答弁をさせていただきます。

まず、来年は二十周年を迎えるわけでありまして、先人の努力に深い敬意を表するとともに、先人の努力に負けないように、これから日々新たな気持ちで、進めていかなければというふうに思っております。

それから、海外派遣のことでございますけれども、これも議員の先生方と、また細かに御相談をさせていただきたいと、かように思っておりますが、それなりの案と申しますか、これは決まったわけでは、決してございませぬけれども、それなりにあるようでございますので、また、その節はぜひ御相談をさせていただきたい。そして、これは一つの国際都市福生といったような形の福生市であるというふうな意味合いにおいても、二十周年に向けての一つのぜひやっていきたい目玉であるというふうな方向で進めていけたらと、こんなふうにも思っているところでございますが、また、これはひとつ議員の皆様方と御相談の上、お願いをいたしたいと、こんなふうにも思っております。

当然、そういった意味におきます七夕は、福生の最大のイベントであるわけでございますから、二十周年でもございするし、また四十回目でもあるというふうなことから、それぞれ創意工夫をいたしまして、これが福生の七夕だなあといったような、そういったようなものを作っていかなければいけないと、

こんなふうにも思っております。

それから、この拝島駅については、やはりまさにあの置かれております場所はエアポケットと申しますか、ただいま在任議員さんがおっしゃられました行政の谷間といったようなところでございますが、福生市民の利用客も、極めて多いわけでございまして、やはりこれも考えていかなければというふうに思っております。

また、駐輪場でございすけれども、これは当然条例を制定するというふうなことも考えておるわけでございすけれども、何分にもあの多摩信の方は、あれは昭島のエリアでございすから、したがって、西武側の方でございすけれども、その辺も今、鋭意検討中でございます。まだ結論は出ておりません。また、駅の改善ということでございすけれども、これは確かにJRの優先順位から行くと、圧倒的に拝島というところが危険な駅であるということは、JRは認識しておりますけれども、トータル的な面におきますと、まだまだ二十三区にはもっともっと危険な駅がたくさんあるというふうなことで、優先順位からいくと、なかなか難しいという状況下にもあるようでございますが、これもひとつ努力をしていきたいと、こんなふうにも思っております。

あと補足の方は次長の方からお願いをいたしたいと存じます。

○教育次長（古谷正夫君） 自席からお許しいただきまして、福生市の青少年の海外派遣の問題について御答弁させていただきます。

今、市長からも答弁がありましたとおり、二十周年の記念事業といたしまして、平成二年度から実施していきたいというふうに考えて、今、検討させていただいておりますのでございます。その中の選考基準等でございますけれども、現在、検討をさせていただいておりますので、その内容は選考委員会を組織いたしました、選考方法については、作文を出していただくとか面接等であったらというふうなことでございす。今現在、検討中でございます。それから、人員の関係でございすけれども、中学生・高校生を対象にいたしまして、十名以内というふうなつもりでございす。その中学生につきましても、公立の中学校と、それから、私立に在学しております中学生を対象にしたいというふうなことでございます。それか

ら、場所につきましては、今、派遣先を検討中でございますけれども、大半の意見といたしましては、アメリカ方面がよろしいというふうな意見がございます。以上でございます。

○市民部長（岩崎好亮君） 放置自転車の件でございますが、市全体としまして、駅周辺の放置自転車をなくすには、放置自転車の規制条例が必要でございます。まず、それには自転車駐車場の設置が必要であります。まずものですから、先ほど御指摘のように、現在、用地の確保のため、鋭意努力をしておりますので、もうしばらく時間をいただきたいと思ひます。

○九番（在原 博君） 大変懇切丁寧に答弁をいただきまして、ありがとうございます。

非常に、時間も経過しておりますので、手短に要望をさせていただきます。

先ほど、市長からも答弁をいただきましたが、市制二十周年という中で、非常に努力をしてくれた方々に対する感謝という意味からも、私は一つには、この間、敬老大会がございましたが、九十五歳以上の人が五名。九十歳以上の人が十五名。八十五歳以上の人が五十四名、また先ほど福生市には六十五歳以上の人が四千百人おられるというふうなことでございますので、二十年を機会として、それらの高齢者の方々に潤いのあるような、また高齢者の方々が参加できるような、そういった施設というものもつくっていく必要があるのではないかと思ひます。それと、今二十周年という記念すべき年というものは、市長から先ほどもお話もございましたが、先人の方々の御努力というものを忘れてはならないと思ひます。そういった機会として、一つの計画を持たれたらどうかかと。高齢者の人々がそこへ参加して、くつろげるような場所というものは、これは日本間のような、また演芸とか展示もできるような会場というようなことも必要ではなからうかと思ひます。そういう意味で、私はこの二十周年の機会に感謝する意味を持って、高齢者の方々をそういうような形で受け入れられるような場所もつくっていく必要があるのではなからうかと思ひます。そういう点について御要望申し上げておきます。

また、海外派遣については、今、いろいろのことで御検討していただいているというようなことでございますが、ぜひとも積極的によりしくお願いをしたいと思ひます。

また、都市基盤整備についてでございますが、先ほど市民部長からも自転車条例を制定しておく方がい

いというようなお話がございましたが、私も早い時期に自転車駐車場をきちっと整備をして、自転車条例に基づいて整備をしていく必要があるのではなからうかと思ひます。そういった意味で、この二十年という一つの区切りの年でもございますので、皆さん方により一層の努力をお願いを申し上げます、一般質問とさせていただきます。大変ありがとうございます。

○議長（仲村清信君） お諮りいたします。

本日の会議はこの程度にとどめ、延会とすることに御異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○議長（仲村清信君） 御異議なしと認めます。よって、本日はこれをもって延会とすることに決定いたしました。

なお、次回の本会議は、九月十二日午前十時から開きます。

本日はこれをもって延会いたします。

午後五時四十五分 延会

写

福生市告示第四十八号

地方自治法（昭和二十二年法律第六十七号）第一百一条第二項の規定に基づき、平成元年
第三回福生市議会定例会を次のとおり招集する。

平成元年九月四日

福生市長 石 川 彌八郎 印

一	期	日	平成元年九月十一日
二	場	所	福生市議会議場

写

福総文発第七百五十一号

平成元年九月四日

福生市長 石 川 彌 八 郎 印

福生市議会議長

仲 村 清 信 殿

議案の送付について

平成元年第三回福生市議会定例会に提案するため、次の議案を送付します。

一 議案第七十号 福生市職員の勤務時間、休日、休暇等に関する条例の一部を改正する条例

二 議案第七十一号 福生市議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

三 議案第七十二号 福生市非常勤の特別職の職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

四 議案第七十三号 福生市長等の給与に関する条例の一部を改正する条例

五 議案第七十四号 福生市教育委員会教育長の給与及び旅費等に関する条例の一部を改正する条例

六 議案第七十五号 福生市児童育成手当条例の一部を改正する条例

七 議案第七十六号 福生市児童遊園条例の一部を改正する条例

八 議案第七十七号 福生市老人福祉手当条例の一部を改正する条例

九 議案第七十八号 福生市重度心身障害者福祉手当条例の一部を改正する条例

十 議案第七十九号 福生市火葬費等の助成に関する条例の一部を改正する条例

十一 議案第八十号 福生市消防団に関する条例の一部を改正する条例

十二 議案第八十一号 福生市行政改革審議会条例を廃止する条例

十三 議案第八十二号 福生市基本構想審議会条例を廃止する条例

十四 議案第八十三号 東京都市町村公平委員会共同設置規約の変更について

十五 議案第八十四号 東京都市町村職員退職手当組合理約の変更について

十六 議案第八十五号 平成元年度福生市一般会計補正予算（第二号）

十七 議案第八十六号 平成元年度福生市国民健康保険特別会計補正予算（第一号）

十八 議案第八十七号 平成元年度福生市下水道事業会計補正予算（第二号）

十九 議案第八十八号 福生市指定金融機関の指定について

二十 議案第八十九号 市道路線の認定について

福議発第百六十九号

平成 元年 九月 五日

殿

福生市議会議長 仲 村 清 信

議案説明員の出席要求について

平成 元年 第三 回福生市議会定例会に御出席くださるよう、地方自治法第二百一十一
条の規定により要求いたします。

なお、議事日程及び議案写しを別紙のとおり送付いたします。

一 日 時 九 月 十 一 日 (月) 午前十時

二 場 所 福生市議会議場